

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型に添うように新たに理念を作り変えました。	○	理念を入れたパンフレットを作成しました。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月曜朝のミーティング時に理念を唱和し確認をしています。職員全員に理念の周知と理解を図り、会議で実現に向けた話し合いをしています。		<理念> さらに「寄り添うケア」を自分らしさの芽を摘まないケアを 穏やかさの基本は恵まれた自然環境活用の中にある
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族がいらっしゃた時に、説明をさせていただきます。又、地域の方々にも、内覧会や見学の際は、お話をさせていただきます。	○	見学においで下さいました皆様にはお話ししていますが、地域全体の方が、理解して頂いているかは、確認が出来ていません。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の途中にお会いした時には必ずご挨拶をし、お寄り下さいとお声かけしています。実際にお出でくださる方もいらっしゃいます。		
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	市内の雛祭りや、中学生の演奏会を見学に行ったり、行事では餅つき・漬物教室・納涼祭に、地域の方々がお見えになり、参加されています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>中学生の職場体験（男子2名・女子4名）・専門学生（女子1名）の介護職員基礎研修を受け入れています。又、石岡市シルバーリハビリ体操指導士会による健康体操を月1度、ホームにて開催しています。</p>	
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の評価表を職員全員に配布しました。今回の自己評価表もコピーし、回覧しました。</p>	<p>○</p> <p>外部評価を有効に活用する為に、職員一人一人に、求められているものを理解してもらい、自分で取組んでいきたいものを、記入してもらいました。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>推進委員会では前回の評価の報告を行いません。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>経営者は市役所へ出向き相談や助言を頂いたりしています。市役所への通信があるときにはホーム便りも一緒に送っています。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の方でご家族以外での支援があります。</p>	<p>○</p> <p>成年後見人制度を利用している方がおり、ミーティングで説明をしました。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待とは暴力行為だけだと思っているが、言葉による虐待もあり。どんな言葉が虐待にあたるか等をミーティングの時などに話しています。</p>	<p>○</p> <p>利用者の状況を把握し、虐待の無いように管理者、職員ともに気をつけて行きたいと思います。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	7月以降の新規入居者はいらしゃら無い為、次回の入所の際は、勉強して行きたいです。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者は出来るだけ入居者の方とふれあいを持ち、入居者の方の思いを汲みとるよう心がけています。意見や苦情がある場合は、その都度職員間で話し合いをしています。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	買い物等は、ご家族に連絡し了解を得ています。病院を受診したときには必ず電話で連絡をし内容をご報告しています。その他の連絡も密にしています。月1回のホーム便りには、元気な姿を見て頂けるように、写真にも気配りをしています。ご家族の方からは楽しみにしています。とのご感想をいただくこともあります。	○  月に一度のホーム便りには、最近の様子や出来事を、個人こじんに記入しご家族に連絡をしています。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱は設けていますが、これまで利用されたことは無いです。ご面会の時には、必ずご家族とお話しする機会を持ちその時に、ご意見等をお聞きしています。意見や苦情がある場合は、そのつど職員間で話し合いをしています。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員会議に意見や要望を聞いています。又、個人的に話し合いをし、改善できるように努めています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務体制を見直し、早出・遅出の体制になりました。日中・夜間を通して、職員を確保できるように努めていますが、現在は日中の活動を優先して日勤人員を多くしています。	○  入居者の状況に合わせた柔軟な対応をしています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>専門学生の実習の受入れや、職員の知人からの紹介や、地域の方からの紹介で入職した方もいます。移動や離職を最小限にし、職員は出来るだけ自社採用出来るようにしたいです。</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	<p>認知症実践者研修へ2名参加できました。他の研修にも関しても、出来る限り参加していきたいです。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>職員同士の交流を目的にボーリング大会を予定しています。勉強会や職員の実習も今後予定していきたいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		<p>運営者は独自の構想を持っており職員にも事あるごとに話しています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学の際に、ご家族の不安や心配ごとなどお聞きし、介護保険についての説明及びサービスについて話をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	来所時や、電話連絡をこまめに行い、ご家族の方と信頼関係が築けるよう努力をしています。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在実績は無いが介護保険のサービスにも色々あることなどをお話ししています。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所などを利用し、納得してご利用いただけるよう取り組んでいます。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	比較のお元気な方は、車椅子を押し散歩に出掛けたり、シーツたたみや、一緒に掃除をしたり、出来る範囲で他入居者の面倒を見てくださっています。経験豊富な入居者から、畑仕事・調理方法・花の育て方など教えて頂く事も多いです。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と入居者の思いを聞きながら、連絡を取り合い最近の様子をお伝えしています。出来る限り面会をお願いしています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご自宅で過ごされていた時より皆さん落ち着いて生活できている様ですが、ご家族と密に連絡を取り合い、なるべく多くの面会をお願いしています。面会にいらしゃいた時には、なるべく普段の生活を見て頂き様子を知ってもらうように心がけています。又、入居者の体調が良い場合は、一緒に外出などをお勧めしています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外の親戚の方や、お友達等のご面会もあります。又、遠距離の方より電話が定期的にかかってくる方もいらっしゃいます。	○	契約時やご家族の訪問時に、以前の交友関係などのお話を伺っています。ご家族の希望で会わせたくない方もいらっしゃいますので、慎重に対応していきたいです。
31 ○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気のあう方同士を、ご一緒に外出に誘ったり、作業を一緒にするなどしてより良い関係が作れるよう支援しています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所され在宅に戻られた方には、ご家族と連絡をとり在宅の様子などをお伺いしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員一人ひとりが入居者の思いを汲み取れるように、コミュニケーション大切にしています。又、コミュニケーションの難しい方は日頃より様子観察をし、小さな変化を見逃さないよう努力しています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に至るまでの過程をご家族の方からお話しを伺い、ご本人のお話も丁寧にお聞きしています。入居後も折りに触れお話を伺っています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各入居者の状態を理解していることが異常の早期発見につながるため、日頃の観察力を養うように努めています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン会議にはなるべく、ご家族も出席して頂けるようお願いしています。又、出来る限りご本人も参加して頂き話し合いの経過を知ってもらい一緒にプランを立てています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングやミーティングを随時行い変化に対応した介護ができるように努力しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録は個別にあり気づきや、変化を見逃さないような記録を心がけています。	○	職員全体が記録の必要性や大切さを理解してもらい柔軟な対応が出来るようにしていきたいです。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ターミナルケアや、通院介助、外出支援、ご家族来訪時の駅までの送迎など状況や要望に出来る限り応じています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方（国分地区）へは、内覧会を行い協力をお願いしました。中学生の職業体験、吹奏楽の演奏会や発表会を見学に行っています。ボランティアによる踊りの会や、シルバーリハビリ体操、行事への協力をお願いしています。		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険以外のサービスで、公民館活動や石岡市シルバーリハビリ体操を利用しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	空室状況など密に連絡しあい、新規の入居者の受入れをスムーズに出来る様に対応しています。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>それぞれの家庭事情がありすべての方とは言えませんが、入居される方と現在入居している方が一緒に外出し、顔なじみの関係を築いてから、体験入居をして頂くことを勧めています。担当しているケアマネとも連絡を取り合っスムーズに新しい環境に慣れて頂くよう努めています。</p>	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄行為に関しては特に配慮しています。個人記録もいつでも公開することを念頭におき記入しています。面会簿を面会者ごとの書式として、一人一枚としています。個人情報が漏れないよう配慮しています。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個人的に要望を聞き実現に向けた取り組みをしています。(ドライブや買い物等)意思疎通が困難な方は表情や行動からくみ取るよう努力しています。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者がどのように過ごしたいかを把握し希望に添えるようにしています。どうしても希望にそえない場合は、ご本人と話し合いをし、時間をずらしたり、日程をあらかじめ決め支援しています。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ホームに美容師さんが来てくれています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	入居者の状況や気持ちに配慮し清潔が保てるよう配慮しています。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	1泊の旅行はしたことが無いので今後取り組みたいです。
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	ことあるごとに、身体拘束について話し合っていきたいと思っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	消防署の救急講習を職員全員が受けられるようにし、緊急時の対応がスムーズに出来るようにしたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>鍵も柵も無い介護を目標としている為常に見守りの状況を崩さず入居者の動向に注意を払うという姿勢で介護に当たっていますが、リスク伴う為ご家族の方にはその旨をお話しをし、ご理解を頂くよう努めています。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタル測定と声かけにより変化の早期発見に努めています、変化がある時は状況により医療機関へ受診をしています。服用情報はケース記録にありますが、変更のあった場合は申し送りノートに記入し誰もが分かる体制をとっています。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服一欄表を作成しいつでもチェックできるようになっています。ケース記録には現在服用している薬の説明書が添付してありどんな薬を飲んでおりどのような作用があるか確認出来るようになっています。内服時は、担当者を決め確実に本人に服薬して頂いています。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便の記録をし予防と早期対応を心掛けていますが、排便コントロールが必要な方は、運動や水分補給を行ない自然排便を促せるよう努めています。又、ご家族と相談し個人的にヨーグルトなど面会時にご持参して頂くようにしています。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後に歯磨きが出来ない方にはうがいをし口腔内の清潔のを保てる様にしています。義歯のある方には夜間はお預かりし義歯洗浄剤につけています。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量をチェックし確認しています。摂取量の少ない方は、ご本人と話しをし違う物で出来る限り対応しています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症のマニュアルを作り、いつでも確認できるようにしていますが、季節ごとに話し合いをし再確認しています。インフルエンザについてはご家族の同意を得て、職員・入居者は全員予防接種を受けています。その他の感染症についても侵入を防ぐ為外出から帰ったときの手洗いうがいを励行し予防に努めています。冬季は加湿器を設置しています。		
79 ○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は出来るだけ新鮮なものを用意できるようにこまめ買出しいき、自家製の野菜を使用することも多い、肉魚はその都度近くの業者さんに届けて頂いています。まな板や布巾は食後漂白をしています。調理器具や台所や床は当番を決め清潔・衛生を心がけています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	塀や策を作らず、気軽に立ち寄って頂けるようにし、玄関はバリアフリーで鍵を掛けず自由に入りが出来るようになってます。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中央ホールには、天窗があり日差しが強い為スクリーンを設置し、軟らかい光にしています。季節感のある作品を制作し入居者と楽しく話せる環境を作っています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースに、ソファを設置し靴を脱いで、足を伸ばせるようにしています。座れる方は畳へ、難しい方はソファにてくつろいで頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族に使い慣れた物をご持参して頂けるようお願いしていますが難しい状況ですが、位牌や写真を飾ったりなさっている方もいらっしゃいます。</p>	○	<p>それぞれの家庭の事情はあると思いますが、なるべくご持参頂けるよう協力をお願いします。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>外気との差を余り大きくしないよう気配りをしながら、なるべく窓を開け空気の入替えをこまめにしています。衣類の調節をこまめにするように心がけています。冬季には加湿器を使用し乾燥しすぎないようにしています。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーになっており必要と思われる所には手すりが付いています。寝具等は、状況に合わせて見直しをし完全確保への配慮をしています。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>表示は出来るだけ大きくして見やすくなっています。居室の入口には写真を入れて分かり易くしています。</p>	○	<p>混乱が、起きた時は早めに気づき声かけをし対応している。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>広い敷地があり、いつでも庭への散歩が出来ます。天気の良いときはベランダや芝生でお茶をしたり、日向ぼっこをしています。</p>	○	<p>自立歩行者だけではないので、(歩行器や車椅子使用者)安全に散歩しやすい環境整備を実施して行きたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者一人ひとりに寄り添い各人の個性を尊重し思いを汲み取りながら 閉じ込めない介護、日々を元気に活動的に過ごしていただくことを念頭に置きそれを実践している